

令和7年度 石川県被災宅地危険度判定士講習会

【 演 習 問 題 】

(全2題)

- ・講習の動画を見ながら判定票を記入してください。
 - ・判定票の解答及び解説は動画の中で行っております。
- ※記入内容と解答が異なっても、修正等は必要ありません。

～判定票の提出について～

- ・講習動画視聴後、本判定票を石川県土木部建築住宅課のメールアドレス (kenjuu@pref.ishikawa.lg.jp) 宛に提出してください。
- ・メールの件名は、『【被災宅地（氏名）】判定票の提出について』としてください。
- ・演習問題の提出を確認後、認定登録証を送付いたします。(12月以降の発送となります。)
- ・回答期限は令和7年12月12日（金）です。

(様式-2) 宅地地盤／のり面・自然斜面被害状況調査・危険度判定票

調 査 票		調査日時	年 月 日			時	調			
		地震名又は降雨災害名								
被害発生場所		都道府県 市郡								
		地区 団地			丁目 番 号					
所有者・管理者氏名		記入者氏名		TEL：						
所有者・管理者の連絡先		TEL：		居住者への説明		☐ 済 ☐ 未了 ☐ 居住者不在 ☐ 老人独居住宅				
<被災状況図>						応急措置 ☐ 済 ☐ 未了 ☐ 被災無 ☐ 簡易記録				
宅地地盤				のり面・自然斜面						
1.クラック	2.陥没	3.沈下	4.段差	5.隆起	1.クラック	2-1.ハミ	2-2.盤ぶくれ	3.ガリ-浸食	4-1.滑落	4-2.崩壊
5.のり面保護工変状		6.排水施設の変状		※宅地地盤・宅地ののり面で簡易記録をする場合は、被災状況図は省略することができる。 ただし、調査箇所が分かるよう判定結果を住宅地図上に記載し、被害が無いことが確認できる全景写真を撮影する。						
[平面図]					[断面図]					
被災写真の有無		☐ 無 ☐ 有→写真番号 []								
特 記 事 項										

演習問題 1

のり面・自然斜面の基礎的条件									
地盤	岩	☐ 軟岩 ☐ 硬岩 ☐ 不明			オーバーハング	☐ 無 ☐ 有			
	土 砂	☐ 砂質土 ☐ 礫質土 ☐ 粘性土 ☐ 不明			排水施設	☐ 無 ☐ 有(のり肩、小段排水)			
のり面高 (複合のり面は擁壁高含)		最大高	m(平均高 m)		のり面保護工	☐ 無 ☐ 植生土 ☐ 構造物			
		(うち擁壁高 m)		擁壁配置	☐ のり面の上部 ☐ のり面の中部				
のり面勾配		度			☐ のり面の下部 ☐ 全面				
のり長さ		m			家屋の有無	上部 ☐ 有 ☐ 無 : 下部 ☐ 有 ☐ 無			
変 状 形 態 と 配 点 表									
宅 地 盤	変形状態のチェック(複数可)		小		中		大		
	1	クラック(幅)	3 cm未満	1	3～15cm 未満又は 複数	3	15cm 以上又は全面	5	
	2	陥没(深さ)	20 cm未満	2	20～50 cm未満	4	50 cm以上	6	
	3	沈下(沈下量)	10 cm未満	2	10～25 cm未満	4	25 cm以上	7	
	4	段差(段差量)	20 cm未満	3	20～50 cm未満	5	50 cm以上	8	
	5	隆起(隆起量)	20 cm未満	7	20～50 cm未満	8	50 cm以上	9	
	6	湧水、噴砂	☐ 無 ☐ 有→+1 点(上の点数に1点加える)						
の り 面 ・ 自 然 斜 面	変形状態のチェック(複数可)		小		中		大		
	1	クラック(幅)	3 cm未満又は単数	1	3～15 cm未満又は複 数	2	15 cm以上又は全面	3	
	2	ハラミ(隆起量)	10 cm未満	3	10～30 cm未満	4	30 cm以上	5	
	3	ガリー浸食	クラックなどが誘因 となって雨滴による 浸食が現れはじめた 段階。	6	のり面の表土が雨裂 に陥没するなど放置 していると被害が広 がるおそれのあるも の。	7	洞穴状や瀝壺状にガ リーが進展して家屋 の基礎やのり面等の 下側に被害を及ぼす ような状態。	8	
	4	滑落・崩壊	部分的な表層すべ り、又はのり面上部 の小崩壊。	7	表層すべりが進んで えぐり取られたよう な状態。放置すると 拡大するおそれのあ るもの、又はのり面 中部までの崩壊。	8	全面的なすべり崩壊 で、さらに拡大のお それがあるもの、又 はのり面底部を含む 全崩壊。	9	
	5	のり面保護工の変状 (植生工は除く)	例えば、のり枠の間 詰め陥没。又はコン クリート吹付工にわ ずかにテンションク ラックが見られるが 吹付工のずれは認め られない程度。	7	例えば、のり枠の部 分的な破損。又はコ ンクリート吹付工の クラック部分で陥 没・ずれが見受けら れる。	8	例えば、のり枠の浮 上り破壊。又はコン クリート吹付工のラ ス金網が露出し、コ ンクリート吹付面にも 破損が見受けられ る。	9	
	6	排水施設の変状	天端排水溝にずれ、 欠損がある。又は、天 端背面、舗装面にク ラックが見られる。	3	左に加え、のり面の クラック、又は目地 からの湧水がある。	5	排水溝が破断沈下す るなど、排水機能が 失われている。	7	
	7	のり面内の水道管等の破裂	破裂して水が流出している。						8
	8	湧水、落石・転石	☐ 無 ☐ 有→+1 点(上の点数に1点加える)						
	被害の判定値 ※基礎点に変状点の最大値を加えた点数 ※無被害の場合は基礎・被害点の記載無し		 点		☆被害程度の点数と危険度判定☆ 無被害： 0 点(防災上問題無し) 小被害： 1～3 点(当面は防災上問題無し) 中被害： 4～7 点(制限付き立入。進行していれば避難) 大被害： 8～10 点(危険、要避難、立入禁止)				
危険度判定		☐ 大 ☐ 中 ☐ 小 ☐ 無							
所見(記入者の意見) ※無被害の場合は記載無し	緊 急 度	☐ 大 ☐ 中 ☐ 小 (人命・財産・交通の3点を判断基準とする。)							
	拡大の見込	☐ 有 ☐ 無 ☐ 判断不可 (備考：)							

(様式－1)擁壁被害状況調査・危険度判定票

調 査 票		調査日時	年	月	日	時	
		地震名又は降雨災害名					
被害発生場所		都道府県					
		市郡					
		地区 団地		丁目		番 号	
所有者・管理者氏名		記入者氏名		TEL:			
所有者・管理者の連絡先		TEL:		居住者への説明		☐ 済 ☐ 未了 ☐ 居住者不在 ☐ 老人独居住宅	
<被災状況図>						応急措置 ☐ 済 ☐ 未了 ☐ 被災無 ☐ 簡易記録	
1.クラック	2.水平移動	3-1.不同沈下	3-2.目地の開き	4.ハラミ	5-1.傾斜	5-2.倒壊	6.擁壁の折損
7.崩壊							
8.張出し床版付擁壁の支柱の損傷		9.基礎及び基礎地盤の被害		10.排水施設の変状		建物・道路との位置関係(基礎点) 	
※簡易記録をする場合は、被災状況図は省略することができる。 ただし、調査箇所が分かるよう判定結果を住宅地図上に記載し、被害が無いことが確認できる全景写真を撮影する。							
[平面図]				【正面図】 [断面図]			
被災写真の有無		☐ 無 ☐ 有→写真番号 []					
特記事項							

演習問題 2

擁壁の基礎的条件	擁壁の種類	☐ L(逆T)型 ☐ 重力式 ☐ コンクリート系擁壁 ☐ もたれ式 ☐ その他	☐ 増積み擁壁		増積部分[] 擁壁部分[] 全擁壁高 m 増設高 m															
		☐ 場所打ち ☐ プレキャスト ☐ 練石積擁壁 ☐ 間地石 ☐ コンクリートブロック ☐ その他[]	☐ 二段擁壁		上部[] 下部[] 上部高 m ; 下部高 m															
		☐ 空石積擁壁 ☐ 玉石積 ☐ くずれ石積 ☐ 間地石 ☐ その他[]	☐ 張出し床版付擁壁		☐ その他[]															
		擁壁の設置条件		☐ 切土・盛土境 ☐ 軟弱地盤上 ☐ 他 ☐ 不明 擁壁の勾配 度 又は (1 :)																
基礎点	①湧水	乾燥	0		0		基礎点計 ①+②+③ 													
		湿潤	0.4		0.2															
		にじみ出し、流出	0.8		0.4															
	②排水施設	水抜孔有、天端排水溝有、表面水の浸透阻止	0		0															
		水抜孔有、天端は表面水が浸透しやすい	0.4		0.2															
		水抜孔無、あっても数・寸法が不適当	0.8		0.4															
	③高さ	H≤1m	0		0															
		1m<H≤3m	0.2		0.1															
		3m<H≤4m	0.4		0.2															
		4m<H≤5m	0.6		0.3															
5m<H		0.8		0.4																
区分	項目	程度	小						中						大					
変状形態と変状点	項目	擁壁種類	コンクリ	練積	増積	2 段	張出	空積	コンクリ	練積	増積	2 段	張出	空積	コンクリ	練積	増積	2 段	張出	空積
	1 クラック		1	2	3	4	5		2.5	3.5	4	5	7		4	5	6	7	8	
	2 水平移動		2	2.5	3.5	4	6	6	3.5	4	4.5	5	7	7	5	5.5	6	7	9	9
	3 不同沈下・目地の開き		3	3.5	4	5	7		4.5	5	6	7	9		6	7	8	9	10	
	4 ハラミ			4.5	5	6	8	8		6	7	8	9	9		8	9	10	10	10
	5 傾斜・倒壊		5	5.5	6	7	8		7	8	8	9	10		8	9	10	10	10	
	6 擁壁の折損		6	6.5	7	8	9		7	8	9	9	10		8	9	10	10	10	
	7 崩壊			9	9	10	10	8		10	10	10	10	9		10	10	10	10	10
	8 張り出し床版付擁壁の支柱の損傷						7						9						10	
	9 基礎及び基礎地盤の被害		10																	
	10 排水施設の変状		3						5						7					
11 擁壁背面の水道管等破裂		10																		
変状の程度	項目/程度	小						中						大						
	1 クラック(幅)	2mm未満のクラックはあるが、機能上の支障なし(コンクリート系擁壁の場合2mm未満)。						2mm～20mm未満(コンクリート系擁壁の場合2mm～5mm未満)						20mm以上(コンクリート系擁壁の場合5mm以上)						
	2 水平移動(伸縮目地前後のずれ)	5mm未満の隙間(変位)がある。						5mm～50mm未満の隙間(変位)がある						50mm以上の隙間(変位)がある						
	3 不同沈下・目地の開き(目地上下・左右の開き)	5mm未満の目地上下のずれ又は目地の開きがある。						5mm～50mm未満の目地の上下のずれ又は目地の開きがある。						50mm以上の目地の上下のずれ又は目地の開きがあり、滑動、転倒のおそれがある。						
	4 ハラミ(テンションクラック・ずれ・中抜け)	小規模のハラミ及び中抜け(積石が1～2個抜け落ちる)						宅地地盤にテンションクラック無し円弧すべりのおそれ無し						宅地地盤にテンションクラック有り円弧すべりのおそれ有り						
	5 傾斜・倒壊	擁壁が前面地盤に対し垂直以下。(コンクリート系擁壁の場合：天端50mm未満の傾斜)						擁壁が前面地盤に対し垂直以上。(コンクリート系擁壁の場合：天端50mm以上の傾斜)						擁壁が前傾・倒壊してその機能を失っているもの。						
	6 擁壁の折損(横・ななめひびわれから起きるもの。はらんでいくが曲線的でなく、クラックを境に鈍角に折れている)	クラックを境にわずかに角度をなしている。(コンクリート系擁壁の場合クラックを境にわずかに前傾している。)						クラックを境に明らかに角度をなしており、抜け石があり、裏込めコンクリートが見える。(コンクリート系擁壁の場合クラックを境に前方に傾斜している。)						一見して大であると判るもの。(コンクリート系擁壁の場合クラックを境に前傾している。又は、1mmでも剪断破壊があり後傾している。)						
	7 崩壊	中間辺りから上が滑っている。						基礎部を残して滑っている。						機能を果たしていない。						
	8 張り出し床版付擁壁の支柱の損傷	支柱にひびが入っている。						支柱のコンクリートがはがれて鉄筋が見えている。						支柱の剪断破壊。						
	9 基礎及び基礎地盤の被害	大規模な沈下やクラックが生じている。																		
	10 排水施設の変状	天端排水溝にずれ、欠損がある。又は、天端背面、舗装面にクラックが見られる。						左に加え擁壁のクラック又は目地からの湧水がある。						水抜孔の詰まり、破損があり、排水機能が失われている。						
11 擁壁背面の水道管等破裂	破裂して水が流出している。																			
被害の判定値		基礎点 + 変状点 + = 点						☆被害程度の点数と危険度判定☆ 無被害： 0 点(防災上問題無し) 小被害： 1～4.5 点未満 (当面は防災上問題無し) 中被害： 4.5 点～8.5 点未満 (制限付き立入、進行していれば避難) 大被害： 8.5 点～(危険、要避難、立入禁止)												
危険度判定		☐ 大 ☐ 中 ☐ 小 ☐ 無						大被害： 8.5 点～(危険、要避難、立入禁止)												
所見(記入者の意見)	緊急度	☐ 大 ☐ 中 ☐ 小 (人命・財産・交通の3点を判定基準とする。) ※無被害の場合は記載無し 拡大の見込 ☐ 有 ☐ 無 ☐ 判断不可 (備考：)																		